

あなたとまちをつなぐ広報紙

広報 きんこう

KINHO TOWNS
PUBLIC RELATIONS



January 2022

1

VOL.202



町長就任インタビュー

新リーダーが描く未来

変化を受容し継がれる伝統の事始め

池田の柴祭り

2年分の思いを込めた新たな門出

錦江町成人式

次世代の子どもたちへ故郷「錦江町」を引き継ぐこと。それは私たちの責務であり使命

「まちづくり」とは、そこに住む住民が自分たちの手で築き上げるもので、行政主導では実現しません。しかし、誰もが住みやすい、住みたいと思える町を実現するために必要な財源には限りがあります。あれもこれも欲しいという「要望」ではなく、情報を共有し判断材料を得たうえでの「選択」こそが求められています。まちの将来を左右する選択は、私たち一人ひとりの責任なのです。

新田 敏郎

錦江町長



過疎地課題として頻繁に叫ばれる少子高齢化や働く場の創出。しかし、単に若い人たちが企業が増えることが、町の魅力や幸福度を高めるものではないかもしれません。まちづくりの原点は住民主体。錦江町独自の価値観で住民同士が互いに支えあい、応援できる体制の構築を目指しています。

——描く錦江町の未来ビジョン——

「情熱まっすぐ」をキャッチフレーズに掲げ、子どもからお年寄りまですべての世代が幸せを感じるられる錦江町実現を訴えてきました。36年務めた役場を離れ、時間をかけて地域を回り、対話を繰り返したからこそ多くの課題と同時にヒントも見えました。さらにその声は旧町や地域単位で大きく異なっています。一人ひとりの声を町政に反映させるため私自身が先頭に立ち、決断力と実行力、スピード感を持って職員と一丸で町政運営を進めていきます。

失敗を恐れず官民が一体となって知恵を絞りながら、情熱まっすぐに挑戦を続けます。寄せられる声を町の魅力へと進化させ、小さな幸せを積み重ねることで、住みたいと思える錦江町とともに築きましょう。

いつまでも住み続けたいと思える錦江町へ。
「情熱まっすぐ」に挑戦する新リーダーが描く
住民主体のまちづくりと未来への展望——。

interview 「揺るぎない覚悟で先頭に立ち、熱い思いで挑戦を続ける」

12月20日、民意を託され錦江町長に就任した新田敏郎町長。
「信頼でつながり、人に投資するまち」をビジョンに掲げ未来を描く、
新たに町政を任された新リーダーに錦江町の可能性と展望を聞きます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年11月28日に執行されました錦江町長選挙におきましては、多くの町民の皆さまから力強い支援を受け、ここに町政を担わせていただくことになりました。あらためて一票一票の重みと責務を感じ、身を引き締めつつ錦江町発展に向けて取り組んでいきます。

——立候補のきっかけと決断——

昨年3月、36年務めた役場を退職し、退路を断って町長選挙に臨みました。歴代町長の下、町職員として地方創生に取り組むなかで感じたことは、まちを動かす原動力はやはり「人」であり、その鍵は人材育成にあると痛感しました。時間はかかっ

てもいい、「人こそが町の宝」であり、錦江町の未来を描くためには人への投資が不可欠だと考えています。

——対話から見た課題と可能性——

昨年4月から約半年かけて町内をくまなく回りミニ集会を開催し、延べ4千人以上と対話を繰り返ししました。そこであらためて地域ごとに抱える課題と、同時に町が持つ魅力や



初登庁では100人を超える職員や町民らに迎えられ、就任式では「ともに汗を流し熱意をもって何事にも挑戦してほしい」と職員に伝えました。対話で得られた声と、数字や根拠に裏付けられたデータを政策に反映していると話します。

信頼でつながり、
小さな幸せを積み重ね、
人に投資するまち

可能性にも気づかせてもらえました。対話を続けるなかで最も多く聞かれた声は高齢者の移動手段と、一次産業振興に向けた働き手の確保。この二つは直面する喫緊の課題として早急に対応したいと思っています。まずは高齢者の移動手段確保として乗り合いタクシーの導入、担い手対策としては季節ごとの労働需要に応じた職員派遣を行う特定地域づくり事業協同組合の整備を急ぎます。

私が目指すまちの姿は、「人がつながり、小さな幸せを積み重ね、人に投資するまち」。まちづくりとは行政主導で実現するものではありません。いつまでも住み続けたいと思える錦江町を作り上げるのは、そこに住む私たち住民自身なのです。

——合併から16年を振り返る——

平成の大合併で誕生した錦江町も16年が経過しました。この間、人口だけを見ると3千人以上も減少。超少子高齢化は急激に進み、医療や介護、地域経済や交通体系など課題は山積。加速する人口減や高齢化は、まさに日本の縮図でもあり、前例のない課題解決に向けた錦江町の挑戦は日本の指標とも言えるでしょう。

PROFILE

新田 敏郎 (しんでん・としろう)

1965年生まれ。南大隅高校卒業後、旧大根占町役場へ入庁。合併後は総務課長や政策企画課長を務め令和3年3月に早期退職し、退路を断って町長選への出馬を表明。4月からミニ集会を町内各地で開催し延べ4千人を超える町民と対話。「情熱まっすぐ」をキャッチフレーズに掲げ「人への投資」と5つの元気を公約で訴え昨年11月28日に行われた錦江町長選挙で初当選した。錦江町馬場在住の56歳。

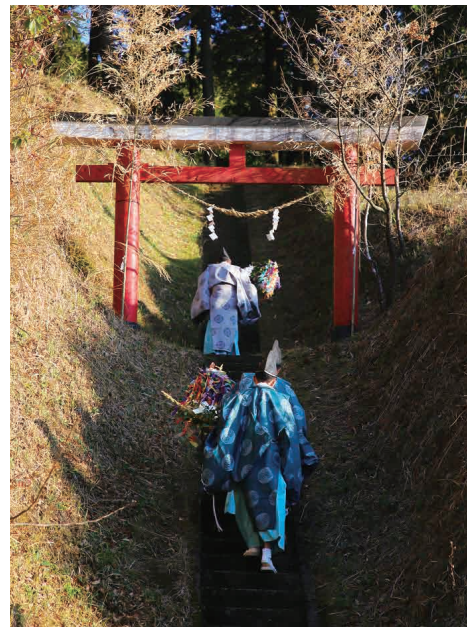




継承するために変化を受け入れる
狩猟文化から農耕文化へ。自然の恵みと生きることへの感謝、地域の安泰と繁栄を願う思いを表現した神事、柴祭りは「当たり前」の日常が

池田の柴祭り。しかし、平成8年頃からしばらくの間、途絶えていた時期があります。「柴祭りは江戸時代中期頃から行われていると推測されます。先人たちが地域の安泰を願い継がれてきた伝統文化を継承する責務がある」と宮司を務める前迫芳文さんは平成14年に祖父の残した記録や調査書、映像記録をもとに復元。三百年以上続くといわれる伝統行事を守りながら今に伝えています。

①高穂神社から錦江湾を眺めシシ肉に見立てたシトギを食す②安水集落の田打ち行事に参加した半下石陽菜ちゃん③一の柴では椎の古木前で神職が祝詞を上げる④田んぼを耕す牛役は見物客にシラスを投げつける。以前は子どもたちが担っていた⑤前迫雅文さんが描いた山の神と餅盗人⑥3日は夜明け前から川で若水を汲み神社を清める⑦田起こし唄では「今年の牛は元気がうけど」など掛け合いが面白い⑧シシ狩りでも神職らの独特な掛け合いがある



いつまでも続くことを、先人たちが強く祈っていた証かもしれません。安水集落では毎年の田打ち行事にほとんどの家庭が参加します。ただ、伝統を続けることは容易なことではありません。神社の場所や料理内容を変え、本来は子どもたちが担ってきた牛役も大人が演じるなど変化を受け入れて継承してきました。「続けるためには変化がともなう。これからも話し合い、形式にとらわれず継承したい」と語った安水純一さん。価値観や生活の多様化に加え、急激な人口減による担い手不足と課題は多いものの、祭りの本質を見失うことなく時代の変化を受容しながら柔軟に対応してきた池田の柴祭りから、多くのことを考えさせられます。

本質を見つめ変化を受容しながら継がれる伝統

池田の柴祭り

田起こしや針起こし、ナンコ始めに狩猟始めといった年初の事始めに関する祭事が、池田地区の随所を巡りながら繰り広げられる「池田の柴祭り」。令和2年3月16日に文化庁から「選択無形文化財」として選択され、継がれてきた歴史と継承が注目を集める「柴祭り」に密着しました。



神ノ川沿いにそびえ立つ立神岩（写真）
安水集落での「田打ち」行事は数年前まで神ノ川沿いの旧立神神社で行われていた。30mを超えると言われるロウソク状の巨岩「立神岩」。数万年前的阿多カルデラ噴火で噴出した溶結凝灰岩が、流水により削られたことで今のような岩になったと伝えられる。現在、立神神社は安水集落内に移築され「田打ち」や「針起こし」といった行事もすべて集落内で完結している。

池田に伝わる年始行事「柴祭り」

鎌倉時代に創建されたと伝えられ、島津氏が山中の竹を戦の旗竿に用いたことに由来する、旗山神社を中心に古くから伝承される年始行事、「柴祭り」が1月2日から3日にかけて行われました。2日は安水地区の立神神社の社殿横で、1メートル四方の田んぼに見立てたシラスを使い「田打ち」と呼ばれる神事が集落総出で始まります。宮司らの唄に合わせ、鉾を模した木の枝でシラスをかき上げながら中央を盛りあげていくのは、牛役の子どもと男性たち。途中、そのシラスを見物客に投げつけることで威勢よく田起こしをする牛を演じ、種まきや鳥追いなど一連の農耕行事で豊作を願います。3日は旗山神社近くにある「この坂」と呼ばれる山中で山の神が餅盗人を懲らしめる様と、ワラで作ったイノシシを矢で射る狼の様子を演じる「シシ狩り」が行われました。前迫雅文さん、大村陽さんが「外した」「子連れだ」「捕ったぞ」と笑みを浮かべ、慣れない鹿児島弁でやりとりを交わします。場所を移しワラのイノシシや竹の弓矢を焼いたあと、シシ肉の変わりに米粉を水で練った

「シトギ」を切り分け、神職から順に「トーン」と大声を上げてから口にししました。その後は参加者も「トーン」と声を張り、順番に頬張ります。以前は2日から4日まで3日間かけて行っていた池田の柴祭りですが、現在は2日間で豊作を祈願する「田打ち」や、裁縫の仕事始めとなる「針起こし」、狩猟始めの「シシ狩り」や、川や海での豊漁を願って海を眺める高台から祈りを捧げる神事を移動しながら行っています。

記録して残すべき無形民俗文化財
かつては大隅半島各地で行われていた新年の事始め行事。しかし、現在でも元の姿を保っているのは旗山神社の柴祭りだけと言われるほど衰退し、各地でその姿を消しています。そこで文化庁は令和2年3月に「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に池田の柴祭りを選択。計画的に映像や報告書を記録することで確実な記録保存と次代への継承に向けた取り組みを進めています。昨年はコロナ禍で中止に追い込まれたものの、変わりゆく時代の変化に適応し、場所や道具などその姿を変えながら現在まで守られてきた、

※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財。記録や保存に関する経費の一部に公費補助を充てることができる。



令和3年・令和4年 錦江町成人式

新型コロナの影響で生活が大きく変化したなかで新成人たちは門出を迎えました。2年分の思いを込めた成人式が行われ対象者92名が参加。大人への第一歩を踏み出しました。

新成人としての決意を胸に
新たな一歩を踏み出す

真新しいスーツや華やかな振袖に身を包み、少し緊張した様子の新成人92名が1月3日に錦江町文化センターで行われた成人式に出席しました。新型コロナウイルスの影響で開催できず2年越しとなった令和3年対象の成人式も同日開催され、会場内は久しぶりにに再会する旧友と談笑する姿が多く見られ賑わいを見せました。

式典では小中学校時代のスライドショーやビデオメッセージも流れ、懐かしい写真の数々や恩師からの祝福と激励に、会場からは歓声が上がると、和やかな雰囲気です。

多くの祝辞を受けた新成人代表らは「故郷への感謝と大人としての責任を胸に、夢に向かって挑戦します」と壇上から力強く宣誓しました。

また、今回から高校生ボランティア11名も受付や案内係として参加。先輩たちの晴れ姿を真剣な眼差しで見つめていました。式典後は家族や友人たちと人生の門出を祝って写真撮影。成長した姿に目を細める保護者を前に、新成人としての決意を新たに、大きな一歩を踏み出しました。





私は現在、大手事務所に所属し、芸人として大阪を中心に活動しています。昨年は錦江町文化センターの舞台に立ち、地域の皆様に笑いを届けられたことを嬉しく思います。高校の時に芸人になるために履歴書を送りました。その時に履歴書へ「笑いは幸せだ」とただその一言を書きました。コロナの中



こいたろう
松尾 鯉太郎 さん (田代中)

錦江町の自慢になる男を目指して

ことわざの「仰いで天に恥じず」を常に意識して生活しています。心や行いにやましいことがないよう自分の行動に責任を持ち社会の一員として常に向上心を持って前進していく覚悟です。私は大学進学のため初めて故郷を離れさまざまな経験をする中で、大学では栄養学科に所属し管理栄養士の資格を取るため学業に励んでいます。研究



りの
平石 璃衣乃 さん (田代中)

食事を通じて病気の方々を健康に

鹿屋市で保育士として働いています。子どもの頃からの夢が叶い、毎日子どもと関われることに嬉しさを感じます。思うようにいかないことも多い毎日ですが、先輩方からアドバイスを受けながら子どもの成長に合わせた関わり方など学ぶことも多くあります。保育士として礼儀や言葉遣いに気を付け、子どもの一番身近な人としてお手本になれるよう努めています。温かい町で育ったからこそ今の私があるのだと深く感じ、この町で育ったことは私の誇りです。成人という自覚を持ち、支えてくれる家族や周りの方々への感謝を忘れずに頑張っています。



なな
久保 七愛 さん (錦江中)

温かい町で育ったことが私の誇り

山口県の公立大学に通い、地域社会や地方創生分野の研究をしています。将来の目標は錦江町でまちづくりに関わっていくことです。進学を期に地元を離れ、より一層故郷へのありがたみを感じ、町に貢献していきたいと思うようになりました。年齢を重ねるにつれさまざまなものへの向き合い方や考え方も大人へなり、成長する自分に嬉しさを感じますが、昔は持っていた素直な気持ちを忘れかけていることに気づき寂しくなります。町が純粋さを取り戻せるような場所にし、帰ってくれば心を休められる、そのようなまちを作っていきたいと思っています。



しゅんすけ
前園 駿介 さん (錦江中)

錦江町が純粋さを取り戻せる町へ

※ () 内は出身中学

舞台裏を支えた高校生ボランティア



先輩の姿を見て自分たちの将来を考える機会にしてほしいと16歳から19歳のボランティアスタッフを募集。11名の高校生が参加し、受付や会場設営、案内係などを行いました。

2022年成人式 実行委員長

えみ
宿利原 恵美 さん (錦江中)



へお願いいたします。

私たちは新成人として新たな一歩を踏み出した。この日を迎えることができたのも家族や地域の方々、先生方そして仲間のお陰です。これからは故郷、錦江町で育ったことを誇りに、何事にも責任を持ち新成人としての自覚を持って行動していきます。未熟な私達ですがご支援ご指導を今後ともよろしくお願いします。

2022年

2021年成人式 実行委員長

かずき
前園 一貴 さん (錦江中)



くお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響で、1年延期された成人式ですがその分感激もひとしおです。この日を迎えることができたのも家族や地域の方々、先生方そして仲間のお陰です。これからは故郷で育ったことを誇りに成人としての自覚を持って行動していきます。未熟な私達ですがご支援ご指導を今後ともよろしくお願いします。

2021年

coming of age
ceremony 2022

二十歳の誓いと決意

大人への第一歩を踏み出した92名を代表し、8名が新成人としての誓いやこれからの決意を宣誓。謝辞では成人式実行委員長を務めた前園一貴さん、宿利原恵美さんが家族や地域の方々へ感謝の思いを伝えました。



同じ学び舎で育った仲間たちと成人式を迎えられることを嬉しく思います。私は大学に進学しIT分野の資格取得やスキルの向上を目標にして勉強に励んでいます。現在はプログラミングを使用したWEBデザインやアプリケーション開発の勉強をしています。内容が難しく友達や先生方に質問して教えてもらうことが多いですが目標に向け少しずつ進んでいることを実感しています。今の生活ができてるのは周りの方々の支えがあるからです。感謝の気持ちを忘れずに両親に恩返しができるようにこれからの時間を大切に過ごしていきたいと思っています。



ゆうま
堀内 夢磨 さん (田代中)

周りの支えに感謝し両親へ恩返し

私たち新成人の中には就職した人、大学や専門学校に行き夢に向かって勉強に励んでいる人がいます。置かれている立場は違いますが、それぞれが自分自身の目標に向かい、少しずつ歩み続けている最中です。現在私は建設会社に勤めています。建設業ではあらゆる業種の方と一緒に仕事します。経験が浅く失敗することばかりですが、支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も業務に励みたいと思います。今まで支えて下さった多くの方々や故郷錦江町に対する感謝の気持ちを忘れずに社会の一員として自分の行動に責任を持ち、社会に貢献していくことを誓います。



ひろき
唐仁原 拓紀 さん (田代中)

感謝の気持ちを忘れずに社会貢献

私自身、錦江町役場で勤務しており窓口で町民の方から声を掛けてもらうことが何よりも温かく、生まれ育った場所で働くことの幸せを日々感じています。これからは町民の方に寄り添い、私自身がいつも感じている温かさを多くの方が感じることで、温かさの出どころのような人になれるよう努力していきます。成人という大きな節目を迎え、自覚や責任を持ち、より一層成長できるよう日々努力をしていきたいと思っています。私達の故郷錦江町をいつも心のよりどころとして、この町で育ったことの誇りを胸に感謝の気持ちを常に持ち、これからも頑張ります。



こはる
牧原 香陽 さん (錦江中)

より一層の成長を目指し日々努力

私は水球を始めるために鹿児島市内の高校へ入学しました。練習についていけず体調を崩すことや辞めたいと思うこともありましたが、支えてくれる両親や仲間のお陰で頑張ることができ、練習していく中でチームワークの大切さも知りました。私は自衛隊に勤務しています。一歩間違えば命に係わる仕事であり毎日緊張感を持って勤務しています。これから、うまくいかないことも多いと思いますが失敗を恐れず、チャレンジをして楽しい人生を歩んでいきましょう。自然豊かな錦江町で生まれ育ってきたことを誇りに思い、健康で明るく楽しい人生を送っていきます。



ひろと
押領司 浩仁 さん (錦江中)

失敗を恐れず明るく楽しい人生を

住民税務課 ☎ 22-3039



マイナンバーカードの時間外受付
受付期間を3月31日まで延長

マイナンバーカード時間外受付の期間を3月31日
☎まで延長します。予約できる曜日は毎週火曜と
木曜で時間は19時まで。事前に電話予約が必要で、
住民票などの証明発行は時間外受付の対象外です。

窓口申請 マイナンバーカード作成に必要なもの
本人確認書類（運転免許証など）/ マイナン
バー通知カード / 証明写真（4.5 × 3.5cm）

マイナンバーカード時間外受付は**事前予約**を



予約できる曜日 ▶ 毎週 火と木
予約方法 ▶ 電話予約（土・日・祝除く）
●本庁 住民税務課 ☎ 22-3039
●支所 住民生活課 ☎ 25-2511
※ 1月4日～3月31日まで

健康保険課 ☎ 22-3044 / 住民生活課 ☎ 25-2511



2回目接種後おおむね8か月経過した方で
3回目接種券が届かない場合

新型コロナワクチンは接種後の時間経過とともに、
ワクチンの有効性が低下することから、2回目接
種からおおむね8か月を経過した方を対象に3回
目の接種券を順次発送しています。2回目のワク
チン接種後に錦江町へ転入された方などは接種券
が発行されないためご自身で接種記録を確認し、
2回目接種から8か月以上経過しても接種券が届
かない場合は、発行申請の手続きをお願いします。

接種券の発行申請が必要な方

- 他自治体で2回接種した後に錦江町へ転入した方
- 錦江町で2回接種してから8か月経過したが接種
券が届かない方
- 予診のみで3回目接種券を使用した方
- 上記以外で接種券が届かない場合や、接種券を紛
失・破損した方は、健康保険課へお問合せください。

申請方法 郵送の場合は町HPから様式をダウンロード

窓口申請 ▶ 本庁健康保険課か支所住民生活課へ申請
郵送申請 ▶ 下記宛先へ接種券発行申請書を郵送

〒 893-2392 肝属郡錦江町城元 963 番地
錦江町役場 健康保険課 健康増進チーム

住民税務課 ☎ 22-3037



2月から町県民税と国保税の申告受付
日程表は1月下旬に配布予定

2月14日☎から各地域の会場で、町県民税・国
保税の申告受付が始まります。申告が必要な方は
手続きをお願いします。申告は3月15日☎まで。

●申告しなければならない人

令和4年1月1日現在で錦江町内に住所がある方 /
事業所得（農業・漁業・営業など）、不動産所得、
雑所得（年金、原稿料等）がある方 / 売電収入、
譲渡所得、山林所得などがある方

●申告しなくてよい人

税務署へ確定申告された方 / 給与所得だけの方で、
給与支払報告書が勤務先から役場へ提出されてい
る方 / 生活保護を受けている方 / 年金収入だけの方

●申告日程・受付表など

申告時に必要な書類や日程表、受付票は
1月27日☎の自治会便で配布予定。

●問合せ先

本庁 住民税務課 ☎ 22-3037
支所 住民生活課 ☎ 25-2511

産業振興課 ☎ 22-3034



おすすめトビウオフォトコン 2022 開催
大隅の水産テーマにフォトコン

大隅地区トビウオ魚塾主催による「おすすめトビウオ
フォトコン 2022」を2月1日から開催します。
魅力ある大隅のサカナを題材に大隅の水産に関す
る写真を募集。受賞者には大隅産の水産物をプレ
ゼントしますので多数の応募をお待ちしています。

募集期間 受賞作品は展示を予定（受賞者発表は3月）

令和4年2月1日☎～28日☎必着

応募方法 料理や漁など大隅の水産がテーマならOK！



インスタ ▶ 翔び魚塾をフォローして「#お
おすすめトビウオ」をタグ付けして投稿。
←こちらのQRコードから大隅地区翔び魚塾をフォロー

郵送 ▶ 写真裏面に氏名とタイトルを記載
して下記事務局宛に郵送してください。
（※写真返却を希望する方は裏面に記載して下さい）

〒 893-2392 肝属郡錦江町城元 963 番地
「大隅地区翔び魚塾事務局」宛

住民税務課 ☎ 22-3037



軽自動車税は4月1日で課税されます
廃車や変更は3月末までに

軽自動車税は4月1日現在の所有者（使用者）に
課税されます。廃車や変更は3月末までにお願
いします。車両の種類で手続きの場所が異なります。

車両の種類	手続きの場所
・原付自転車 (125cc 以下) ・小型特殊 ・ミニカー	住民税務課 / 支所住民生活課 廃車 ▶ 所有者の印鑑 ナンバープレート 名義変更 ▶ 新・旧所有者の印鑑 車名（車体番号）が分かるもの
・軽自動車四輪 ・軽自動車二輪 (125 ～ 150cc) ・小型二輪 (250cc 以上)	鹿児島県軽自動車協会 (鹿児島市谷山港 2-4-42) ☎ 099-261-4011



トラクタやコンバインなどの農耕用特殊自
動車も、公道走行の有無に関係なく登録
（ナンバープレート交付）が必要です。

教育課 ☎ 22-0517



あなたの夢をバックアップ！
奨学金の申請は3月25日まで

高校や大学に在学中の方や来年度から進学される
方に奨学資金のご案内です。希望される方は、3
月25日☎までに教育委員会へお申込みください。

申込期限 ▶ 3月25日☎まで

奨学金の種類と貸与月額

- 大学 奨学生 月額 20,000 円以内
- 高校 奨学生 月額 15,000 円以内

応募資格 ▶ 高等学校、大学（高専、短大、専門学校、
大学院など）に在学中の方や進学される方

提出書類 ▶ 奨学資金貸付願出書・推薦調書（在
学中の学校に依頼）



農業委員会 ☎ 22-3035



35歳未満の方は納付下限額を引き下げ
農業者年金に月額1万円から

令和4年1月から35歳未満で認定農業者に該当し
ないなど一定の要件を満たす場合、農業者年金へ
月額1万円から加入できるようになりました。納
付下限額が2万円から1万円に引き下げられたこ
とで若い農業者がさらに加入しやすくなります。

対象者 下記①～⑤のいずれにも該当しない方が対象

- ①認定農業者かつ青色申告者 /
- ②認定就農者かつ青色申告者 /
- ③①または②の者と家族経営
協定を締結し、経営に参画し
ている配偶者または直系卑属 /
- ④認定農業者または青色申告
者 / ⑤①または②以外の農業
を営む者の直系卑属で、その
農業に常時従事する後継者



納付下限額は1万円、上限額は6万7千円

介護福祉課 ☎ 22-3043



平成11年式の公用車2台を売却
申込期限は1月21日☎まで

錦江町の公用車を売却しますので、購入を希望する
方は1月21日までに入札参加申込書を提出してく
ださい。対象車両は役場本庁駐車場で公開します。

売却車両情報 介護福祉課で使用していた車両2台

車名 ▶ ホンダ アクティバン
初度登録 ▶ 平成11年
走行距離 ▶ 152,183km
車検有無 ▶ 無し



車名 ▶ ホンダ アクティバン
初度登録 ▶ 平成11年
走行距離 ▶ 153,998km
車検有無 ▶ 無し



入札参加方法 入札日 ▶ 令和4年1月24日☎

1月21日までに入札参加申込書を介護福祉課へ提出し
てください。詳細はお問合せください。（☎ 22-3043）

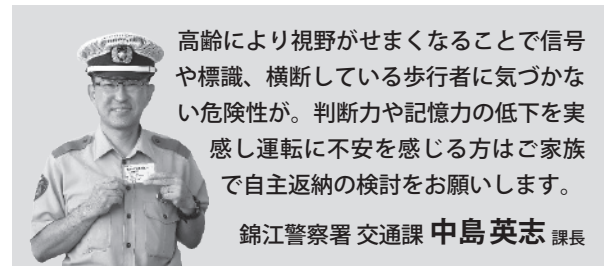
公開期間 ※車両の内外装の状態確認のみで試乗不可

1月17日☎～21日☎
場所 ▶ 錦江町役場 北側駐車場



高齢で！ 運転が不安という方へ 運転免許証 自主返納 お知らせ。

「視野がせまくなる」「歩行者に気づかない」など、加齢とともに運転に必要な判断力や身体能力は衰えていきます。運転が危険と自分で判断した方が運転免許証を自主的に返納された場合、さまざまな支援や特典があります。「そろそろ危ないかな…」と考えている方は、ご家族で自主返納について話し合ってみませんか。



自主返納された方には**4つの支援&特典**があります

1. 錦江警察署が**自主返納カード**を交付

返納した証明として錦江警察署が自主返納カードを交付。さまざまな特典を受けられ身分証にもなる運転経歴証明書は有料（1,100 円）で申請できます。

2. タクシー利用助成券を **12,000 円分**

運転免許証を自主返納した方に対し、タクシー利用助成として1回500 円分の利用券24 枚（年12,000 円分）を交付しています。錦江町役場介護福祉課 ☎ 22-3042 へお問合せください。

3. 自主返納で**タクシー乗車運賃が1割引**に

みさきタクシーでは自主返納カードを提示すると乗車運賃が1割引されるサービスを行っています。（みさきタクシー ☎ 22-0900）

4. **手紙&エコバッグ&しおり**を贈呈

錦江警察署では、自主返納を決断した勇気と安全運転に対するこれまでの感謝の気持ちを込めて、返納時に子どもたちからの手紙と反射素材付きエコバックを贈っています。（手紙▶なんぐう交通・防犯少年団/エコバッグ▶錦江地区安全運転管理協議会提供）

自主返納に関するお問合せは
錦江警察署 交通課 ☎ 0994-**22-0110**

鹿兒島「県民の森」イベント

県民の森では薬草を使ったオリジナルブレンドティー作りや親子でシイタケ種駒打ち体験などのイベントを行います。ご家族やお友達とご参加ください。

冬の「長尾山」登山を
楽しもう1月23日 ㊤
薬草を使ったオリジナル
ブレンドティー作り
1月29日 ㊤
親子シイタケ種駒打ち体験
2月6日 ㊤

☎ 0995・68・0557
園 県民の森管理事務所

統計グラフ作品展示会開催

2月28日から3月7日まで肝属地区統計協会主催による「令和3年度統計グラフコンクール作品展示会」を開催します。鹿兒島県統計グラフコンクールの入賞作品パネルを県内4か所で巡回。統計が生活に深く関わっていることを知る機会となりますのでぜひご来場ください。

期間 2月28日～3月7日まで
場所 錦江町文化センター1階
園 錦江町役場 政策企画課（肝属地区統計協会事務局）
☎ 0994・22・3032

ポイントで年最高 5,000 円分の商品券 介護人材の登録者を募集します

介護人材の裾野拡大を図るため、介護分野の周辺業務などのボランティア活動に対して地域商品券に交換できるポイントがたまる「介護人材ポイント事業」がスタート。1ポイント100 円で年5,000 円を限度に地域商品券と交換します。希望される方は地域包括支援センターまでお問合せください。

対象となる活動 下記のような支援活動が対象

- 介護保険施設などでボランティア活動
レクリエーションの補助 / 食事の配膳や下膳 / 洗濯物の整理整頓や清掃などの補助的な作業
- 高齢者を支援する活動
ゴミ出しや外出の支援、見守りなど地域内での支援活動
- 町が認める介護分野の各種研修受講

登録方法 ※錦江町に住所がある方が対象

錦江町地域包括支援センターへ登録申請書を提出後、介護人材確保ポイント手帳を交付します。

1ポイント＝100 円(30 分～1 時間程度の活動)
年間最高 50 ポイントで 5,000 円分の商品券を贈呈

園 錦江町地域包括支援センター ☎ 22-3030

お知らせ

照葉樹の森イベント案内

自然を体感できるウォーキングや登山などを楽しむイベントを行います。ぜひご家族やお友達とご参加ください。

▼月例登山会（御在所岳）

2月13日 ㊤

園 照葉樹の森管理事務所

☎ 080・6417・6518

新型コロナ接種証明アプリ

令和3年12月20日から国が公式に提供する新型コロナワクチンの接種証明書を取得できるアプリの配信が始まりましたので、ご活用ください。

※証明書に記載の二次元コードには氏名や生年月日、接種日など個人情報が含まれます。取り扱いには十分ご注意ください。

必要なものは次のとおり

●マイナンバーカード

●スマートフォンなどの端末



園 錦江町役場 健康保健課
☎ 0994・22・3044

肺炎球菌ワクチン予防接種

成人用肺炎球菌の本年度対象者へ昨年5月に予診票（水色）を送付していますが、助成期間は令和4年3月31日までとなっています。まだお済みでない方は早めに医療機関へ予約をお願いします。予診票の紛失などに関する問合せは健康保険課まで。

園 錦江町役場 健康保険課

☎ 0994・22・3044

アルコール問題に悩む方へ

アルコール問題で悩んでいるご家族が集まり、自由におしゃべりしながら互いに思いを語り合うつどいを開催します。一緒に学び、これまで気づけなかった変化や喜びとともに発見しましょう。申込みは2月8日まで。

日時 2月10日 ㊤ 14時から

場所 大隅地域振興局本館3階

講師 メンタルホスピタル鹿屋

看護師 四元 淳 氏

作業療法士 垣内 信哉 氏

申込期限 2月8日 ㊤

園 鹿屋保健所 地域保健福祉課

☎ 0994・52・2124

防火ポスター・書道展案内

春季火災予防運動の一環として

児童1人あたり10万円の臨時特別給付金 高校生や新生児は申請が必要です



新型コロナの影響を受けた子育て世帯への支援策として、対象児童1人あたり10万円の臨時特別給付金を昨年12月末に支給しています。しかし、9月末時点で錦江町に住所がない児童や、10月以降に生まれた新生児を養育する保護者は申請が必要になりますので、介護福祉課まで申請をお願いします。

申請手続きが必要な方 詳細はホームページに掲載

つぎの①～③に該当する方は申請が必要です

- ①令和3年10月1日以降に生まれた新生児を養育
- ②町外に居住する対象児童を養育している
- ③錦江町で令和2年の所得が確認できない方（令和3年1月1日時点で他市町村に住所がある場合など）

支給対象者 ①～③に該当する児童を養育する保護者

①令和3年9月分の児童手当（本則給付）支給対象となる児童

②令和3年9月30日時点で高校生（平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれ）の児童

③令和3年10月以降、令和4年3月31日までに生まれた新生児で児童手当の支給対象となる児童



園 錦江町役場 介護福祉課 ☎ 22-3042

への届出をお願いします。本人の意向やライフサイクルに応じて、さまざまな支援が受けられるメリットがあります。

●すぐに就職したい

↓医療機関の最新の求人情報を提供します

●子育て中で復職を考えている

↓復職に必要な医療、看護の知識や技術などを学ぶ「復職支援研修」の案内など

届出方法 スマホやパソコンから「とどけるん」で検索を。

園 鹿兒島県ナースセンター

☎ 099・256・8025

Yamabun Book News

やまぶんブックニュース

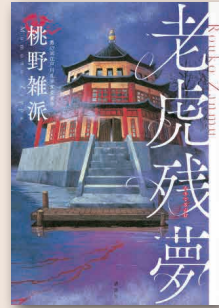
図書室からのビッグでブックなお話です！新作や、あの話題作をご紹介。

本年も素敵に一冊に出会えますように！

いま話題のあの本を毎月ご紹介！

話題

ろうごぜんむ 老虎残夢 著：桃野 雑派



舞台は南宋時代の中国。八仙島の湖中に浮かぶ八角形の奇妙な館に武術の達人たちが集められた。雪の夜、ある人物が変死体で発見される。雪と湖による完全な密室で起きた殺人。残された弟子と娘、そして奥義を譲られるはずであった3人の男女で、犯行が可能だったのは誰なのか——。師の仇を取るべく愛弟子が謎に迫る。

いま話題の本を毎月ご紹介

図書司書補が厳選する今月の1冊

文セ図

余命 10年 著：小坂 流加



20歳の茉莉は数万人に1人という不治の病で余命10年と宣告させる。未来への諦めから死への恐怖は徐々に薄れ淡々とした日々を過ごしていく。そして何となくはじめた趣味に情熱を注ぎ、恋はしないと心に決める茉莉だったが…。衝撃の結末は涙より切ないラブストーリー。2022年に映画化決定。

文化センター図書室

やま図

星を掬う 著：町田 そのこ



「小学1年の夏休み、母と2人で旅をした。その後、私は母に捨てられた」。ラジオの賞金欲しさに投稿した千鶴だったが、それを聞いて連絡してきたのは自分を捨てた母の「娘」と名乗る恵真だった。母と再会し同居することになったが、記憶とまったく違う母の姿を見ることに——。すれ違う母と娘の物語。

やまんなか図書室

読み聞かせやワークショップ、錦江町青年団によるブックカフェも
田代支所2階のやまんなか図書室で「読書まつり」を開催

2月26日㊥、やまんなか図書室で「読書まつり」を開催します。しおり作りワークショップや青年団によるブックカフェなど盛りだくさん。皆さまのご来場お待ちしております！

※読書まつりのため文化センター図書室は午前中休館し、14時から開館します。

開催日▶2月26日㊥
時間▶10:00～12:00
場所▶やまんなか図書室
対象▶小学生以下

今月の新着本



阿佐ヶ谷姉妹のほほんふたり暮らし
著：阿佐ヶ谷姉妹



相性で運命が変わる福寿縁うらない
著：中国ミホ



真夜中のマリオネット
著：知念実希人



闇祓(やみはら)
著：辻村深月



残月記
著：小田雅久仁



ポップス歌手の耐えられない軽さ
著：桑田佳祐

子どもたちにオススメの本



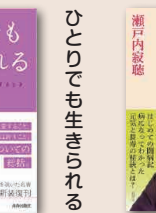
絵本
あんしんえほん
監修：高濱 正伸



児童書
10歳までに読みたい世界の名作
レ・ミゼラブル ああ無情
作：ビクトル・ユゴー

人々の心に寄り添い続けた瀬戸内寂聴さんの書籍紹介

昨年11月に亡くなられた僧侶の瀬戸内寂聴さん。親しみやすい説法で人気を集め、作家としても数々の文学賞を受賞した寂聴さんの書籍を紹介します。



20歳になった方には、日本年金機構から「国民年金加入のお知らせ」や納付書等により、国民年金に加入したことをお知らせします。公的年金制度は、老後や障害を負ったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。若いときに公的年金制度に加入して、保険料を納め続けることで、老後や病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに年金を受け取ることができます。原則として、保険料を納めなければ年金を受け取ることができません。しかし、所得が低く保険料を納めることが困難な方のために保険料免除制度があります。

「老齢基礎年金」が受け取れる一生涯の保障です。
万が一の障害や遺族も保障！
老後だけではなく現役世代の保障も充実しています。
保険料が控除！
納めた保険料の全額が所得から控除されます。
基礎年金の半分は国(税金)が負担！
基礎年金の半分は国(税金)が負担！
●学生納付特例制度のメリット
●老齢基礎年金を受け取るために必要な期間(受給資格期間)に算入されます。
●病気やケガで障害が残ったときに、障害基礎年金を受け取ることが出来ます。
対象になる方
大学(大学院)、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校※に在籍する学生等で、ご本人の前年度所得が基準以下の方です。
※学校教育法で規定されている修業年限が1年以上の課程に在学している方
問合せ 鹿屋年金事務所
0994-425121

あなたをずっと支え続けるための国民年金

新成人の皆さんへ
20歳になったら国民年金

住民税務課 ☎0994-22-3039
住民生活課 ☎0994-25-2511
鹿屋年金事務所 ☎0994-42-5121

2022.1.13 発行 広報きんこう版 南大隅高校だより

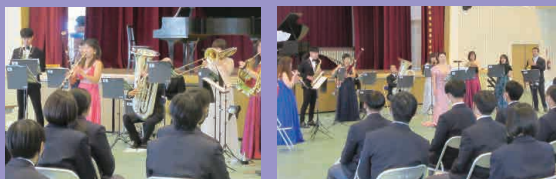
自転車部が持久走の先導ボランティア

自転車競技部の2年生4名が恒例の神山小学校の持久走大会先導ボランティアを今年も行いました。



芸術鑑賞会で本格的な演奏に触れる

霧島国際音楽ホール演奏者12名による「みやまおとどけコンサート」があり本格的な演奏を鑑賞。



図書委員が神山小の生徒に読み聞かせ

図書委員会の生徒が神山小学校で1～3年生を対象に「クリスマス絵本」の読み聞かせを行いました。



安心の365日・24時間受付

家族葬、自宅葬から一般葬まで

「もしも…」の時。すぐ、お電話ください。
すぐ、お迎えに参ります。

総合葬祭 ルミエールなんぐろ Lumiere
愛・まごころ

錦江町馬場 2142 番地 1 (タイヨーさん隣)
Tel (0994) 28-3491・Tel (0994) 24-4444

お知らせ

政策企画課 ☎22-3032

令和3年度コミュニティ助成事業を活用
六反田自治会が公民館備品整備

財自治総合センターでは宝くじの収益を財源に社会貢献事業としてコミュニティ助成事業を行っています。令和3年度は木場自治会と六反田自治会が公民館用備品を整備。六反田自治会ではテレビやエアコン、屋外倉庫などを整備して自治会活動に取り組んでいます。

※木場自治会の備品整備は令和2年9月号で紹介しました

六反田自治会が公民館の備品整備



座車、座椅子、テント、冷蔵庫、テレビ、レコーダー、電子レンジ、掃除機、扇風機、屋外倉庫、エアコンなど

イノベーションチャレンジ2021 成果発表 課題に気づき解決する力を育てる

地域が抱える課題に気づき、解決へのアイデアを仲間とともに導き出す体験型キャリア教育「イノチャレ」に3名の中学生が挑戦しました。取材を通じて見えてきた廃棄野菜問題をテーマに約7か月かけて解決の糸口を探った生徒たち。12月12日の発表会では若い視点から斬新なアイデアを提言し大きな成長を見せました。



課題解決に明確な答えは存在せず互いの意見交換から無限の可能性を探ります。左から上川路征一郎くん、馬庭英慈くん、福岡香織さん。

「失敗を恐れず、挑戦を続ける職員に」 木場一昭町長が最後のあいさつ

2017年12月から1期4年間、町政の舵取りを担ってきた木場一昭町長が、12月17日をもって退任されました。退任式では「今後は一町民そして行政、町長を経験した者として錦江町発展のために協力したい」と行政生活40年を振り返りあいさつ。正面玄関前に集まった大勢の職員や町民から拍手で見送られ庁舎を後にしました。



「まちづくりに人材は欠かせない。失敗を恐れず挑戦を」と職員へ最後の訓示を述べた木場町長は、40年務めた役場に別れを告げました。

今年は田代小、神川小、宿利原小、大根占小の6年生が参加。一匹から2つしか取れない貴重部位「脳天身」も唐揚げでいただきました。



魚食普及を目指し「おさかな料理教室」 特産のカンパチを刺身で味わう

魚や海の魅力を知ってほしいと漁協青壮年部が開いた、恒例の「おさかな料理教室」に町内4小学校から6年生57名が参加しました。「魚料理に親子でチャレンジしてほしい。漁業にも興味を持つきっかけになれば」と期待を寄せた染川和希部長。刺身にした新鮮なカンパチを堪能し、地元錦江町に広がる錦江湾の味覚に触れました。

当日はやまんなかマルシェも行われ、冷えた体を温かい料理や飲み物で暖めながら、優しく灯るキャンドルと音楽を楽しんでいました。



冬の花瀬をキャンドルと花火が彩る やまんなかりモート音楽会を開催

12月11日、花瀬でんしろ館グラウンドでやまんなかりモート音楽会が開催されました。カサリンチュの村山辰浩さんやベリーグッドマンなど4組が、会場内に設置された大型モニターにリモート出演。子どもたちが2,000本を超えるキャンドルでクリスマスツリーを作るなど会場を彩り、澄み切った冬空に輝く花火で幕を閉じました。

「気持ちのこもった手紙がうれしかった。またお礼を伝えたい」と目を細める垂口徹郎さん。ゆうゆうカフェは1月から月2回の開催を予定。問い合わせは町地域包括支援センターまで。



大根占小児童らが世代間交流 心温まる手紙に満面の笑顔

認知症の当事者やその家族らが参加する集いの場、「ゆうゆうカフェ」が昨年5月にスタート。誰もが安心して暮らせるまちづくり実現に向けた取り組みが始まっています。12月20日には大根占小4年の児童29名と、卒業式で使うパンジーに肥料や油粕など追肥を行いながら交流を深めたメンバー。児童からの手紙に満面の笑みがこぼれました。

バーベキュー通じて農家と中学生が交流 町畜産振興会が畜産の魅力伝える

町の基幹産業である畜産の魅力伝えたいと3年前に始まった、「畜産を学ぶ会」が12月7日に開催されました。錦江中と田代中の3年生50名が参加し、バーベキューを通して農家や関係者と交流。貫見広幸会長は「未来を担う子どもたちと交流できる貴重な機会。畜産の魅力と可能性を伝える場にしたい」と力を込めました。



錦江中3年の宮原杏芽くんは安心安全な牛肉を提供するために欠かせない「耳標」の装着を体験し、品質管理の重要性を肌で感じました。

それぞれの代表を務める宮下和代さんと城下朝美さんは、「薄味でも下味やダシなどの工夫で満足感が高まる。減塩の意識を」と話します。



食生活改善推進員と花蓮会が料理で交流 減塩をテーマに美味しい情報交換

食生活改善推進員と、農林水産業を営む若手女性で構成する花蓮会が、12月7日に減塩料理教室を開催しました。15名が協力してカボチャポタージュなどクリスマス料理全6品が完成。「素材の組み合わせやスパイスの活用など、コツさえ押さえれば塩分を減らしてもおいしく仕上がると」情報交換しながら交流を深めました。

各種教室や相談、住宅情報、在宅当番医など暮らしに役立つ情報満載のコーナーです！

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません



今月の表紙

今月3日に行われた柴祭りの「シシ狩り」の様子。前迫雅文さん④と大村陽さん⑥が異にかかったイノシシを矢で仕留める様子を掛け合いを交えて演じます。「ふっとかイノシシがかかったぞ」「子もいる」「あいや外したっ」と、素朴なやりとりは笑いを誘います。慣れない鹿児島弁に苦労したと口をそろえる二人。前迫さんは2回目、大村さんは初めてのシシ狩りでしたが、役目を見事に務め笑みがこぼれました。

編集後記

2022年初の広報きんこうは町長就任あいさつ、池田の柴祭り、成人式を新春特集として掲載しています。町長就任と柴祭りの取材を担当しましたが、特に柴祭りは初取材ということもあり、見るものすべてがとにかく新鮮。合併から16年経ちますがまだまだ知らない地域の歴史や行事があると感じました。今月号から2人体制です。(今村)

昨年10月より広報紙作成に関わりフォトニュースをおもに担当していましたが今回初めて成人式の特集取材を行いました。新成人の皆さんのように感謝を忘れず取材も頑張りますのでよろしくお願いします。(小原)

ニュース

大根占池田ソフトボール少年団が全国大会へ



昨年12月に開催された春季全日本・全九州小学生選抜ソフトボール県大会で大根占池田ソフトボールスポーツ少年団が優勝し全国への切符を手に入れました。

大根占・池田ソフト両少年団の5年生以下で結成する合同チームで県大会を制覇。3月末に北九州市で開催される全国大会に挑みます。

ニュース

サツマイモをガネに！郷土の「味力」に触れる



12月17日、池田小の5・6年生10名が学校で育てたサツマイモでガネ作りに挑戦。食生活改善推進員2人に手ほどきを受け、郷土の味に触れました。

加藤絹子さんと小梅枝由美子さんに教わり完成したガネは給食で試食。地域の歴史と魅力を再確認しました。

町営住宅 空き家情報

田代地区▶ (1月1日現在)
・公営 溝下団地…………… 2戸

入居希望に関するお問合せは本庁建設課
(☎ 22-3033) までご連絡ください。

空き家バンク 登録情報

(1月1日現在)

地区	戸数	地区	戸数
城元	2戸	麓	0戸
馬場	3戸	上部	0戸
神川	1戸	大原	0戸
宿利原	0戸	川原	0戸
池田	1戸	花瀬	0戸

詳細情報は町ホームページをご覧ください
問合せ▶政策企画課 ☎ 22-3032

休日の在宅当番医

月 日	病 院 名	電話番号
1月16日	藤崎クリニック	22-2238
1月23日	津崎医院	24-2153
1月30日	大根占医院	22-2658
2月6日	長浜医院	22-0137
2月11日	肝属郡医師会立病院	22-3111
2月13日	じょうさいクリニック	24-2977

諸事情により変更する場合があります。
ご利用の前にお問い合わせください。

最新の在宅当番医は肝属郡
医師会ホームページに掲載
(公財) 肝属郡医師会HP▶



人口の動き

2022年(令和4年)1月1日現在

		前月号比
人 口	6,936人	(△18)
男	3,305人	(△7)
女	3,631人	(△11)
世帯数	3,675戸	(△5)

2021年12月1日～12月31日届出

転入・出生	25人
転出・死亡	43人

住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。(圖住民税務課 ☎ 22-3039)

子育て・各種教室

問合せ▶健康保険課 ☎ 22-3044

開催日	行 事 名	場 所	時 間
1月19日④	1～3歳児歯科健診	町総合交流センター	受付13:00～13:15
1月26日④	乳児検診	町総合交流センター	受付13:00～13:15
1月27日④	母子相談	町総合交流センター	10:00～11:00
2月1日④	あぐあぐクラブ	町総合交流センター	受付9:15～9:30
2月4日④	かみばく教室	町総合交流センター	受付9:15～9:30
2月7日④	母子相談	田代保健福祉センター	10:00～11:00
2月9日④	1歳6か月健診	町総合交流センター	受付13:00～13:15
2月16日④	乳児検診	町総合交流センター	受付13:00～13:15

※新型コロナウイルスの感染状況により健診および教室を中止する場合があります。

※1月21日の「たんぼぼ教室」は中止します。

相 談

問合せ▶総務課☎ 22-0511/ 支所住民生活課☎ 25-2511

内 容	月 日	場 所	時 間	問合せ
無料法律相談	毎週月曜日	南大隅地区司法書士 法律相談センター	13:00～16:00	鹿児島県 司法書士会
行政相談・ 心配ごと相談	1月25日④ 2月10日④	田代保健福祉センター 役場本庁3階	9:00～12:00	住民生活課 総務課

KINKO PHOTOCONTEST

— 錦江町フォトコンテスト2021 子どもたちに残したい町の風景 —

1月のお題は「新年」です。初日の出や新年の抱負につながる写真など、新年らしいお写真をお待ちしています。予告▶2月のお題「田舎暮らし」

応募方法▶町ホームページに掲載(右記QRコードから)



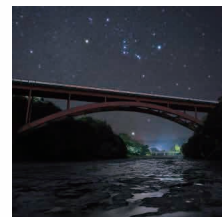
応募締切▶1/31 ④まで(発表は2月中旬)

図未来づくり課 ☎ 25-1001

…… 11月のお題部門「月日の流れ」受賞者 ……

🏆 最優秀賞 サム様

「澄んだ星空。思わず声が出るほどの美しい星空が身近にあるステキな町です。」





広報きんこう
2022年1月号

発行/錦江町役場
〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地
TEL 0994-22-3032 FAX 0994-22-1951



ホームページ/ <http://www.town.kinko.lg.jp/>
印刷/株式会社南大隈新生社印刷



2022.3.13 sun 第16回 花瀬公園まつり

駅伝大会



3年ぶりの花瀬駅伝！仲間とともに、春の花瀬を駆け抜けよう！

3/13 日 10時 スタート
花瀬・大原周回コース 2.2km/3.0km

少雨決行

春の訪れを告げる花瀬駅伝大会を3月13日に開催します！
今回は新型コロナ感染対策として、花瀬から大原の2.2kmと3.0kmの
周回コースを舞台に開催。特産品が当たるお楽しみ抽選会など盛りだくさん。

●エントリーは全4部門

①小学生の部 ▶ 5区間、全区2.2km、周回コース

②中学生/③一般/④女子の部 ▶

6区間、全区3.0km、周回往復コース

●参加料(1チーム)

中学生以下3,000円 / 高校生以上5,000円

●申込締切 令和4年2月18日(金)

●問合せ・申込先

花瀬公園まつり駅伝大会実行委員会
(錦江町教育委員会内 ☎0994-22-0517)
〒893-2302 肝属郡錦江町城元963番地
錦江町総合交流センター2階

参加申込方法

参加申込に必要な大会パンフ
レットは教育委員会で受け取る
か、錦江町ホームページからダ
ウンロードし
てください。

錦江町HP▶

